

# 令和4年三重県議会定例会 予算決算常任委員会 教育警察分科会

## I 議案補充説明

### <予算関係>

議案第 5 号 「令和4年度三重県一般会計予算」 (教育委員会関係) .....	1
議案第 57 号 「令和3年度三重県一般会計補正予算 (第20号)」 (教育委員会関係) .....	32

### <条例関係>

議案第 40 号 「公立学校の会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に 関する条例の一部を改正する条例案」 .....	34
---	----

## II 所管事項

1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく 報告について .....	35
--	----

令和4年3月16日

教育委員会

# I 議案補充説明

## 議案第5号

### 令和4年度三重県一般会計予算【教育委員会関係】

歳 出

(単位:千円)

款	項	令和3年度 当初予算 (下段:令和2年度 第12号補正 <sup>※1</sup> 含む)	令和4年度 当初予算 (下段:令和3年度 第18号補正 <sup>※2</sup> 含む)	増減額	増減率
		A	B	B-A	(B-A)/A
教育費	教育総務費	23,561,843 (25,533,344)	23,147,857 (23,347,653)	▲ 413,986 (▲2,185,691)	▲ 1.8% (▲8.6%)
	小学校費	53,915,166	53,472,718	▲ 442,448	▲ 0.8%
	中学校費	30,011,886	29,629,705	▲ 382,181	▲ 1.3%
	高等学校費	33,040,144 (33,321,284)	33,599,384 (34,549,761)	559,240 (1,228,477)	1.7% (3.7%)
	特別支援 学校費	12,997,813 (13,067,458)	13,506,759 (14,122,279)	508,946 (1,054,821)	3.9% (8.1%)
	社会教育費	598,508	409,563	▲ 188,945	▲ 31.6%
	保健体育費	518,115	585,297 (623,975)	67,182 (105,860)	13.0% (20.4%)
合 計		154,643,475 (156,965,761)	154,351,283 (156,155,654)	▲ 292,192 (▲810,107)	▲ 0.2% (▲0.5%)

※1 令和2年度第12号補正予算

- ・国の補正予算に対応し、「地域とつなぐ職業教育充実支援事業費」ほか6事業に2,322,286千円を計上
- ・令和3年度当初予算と一体的に予算を編成し、実施するもの

※2 令和3年度第18号補正予算

- ・国の補正予算に対応し、「地域とつなぐ職業教育充実支援事業費」ほか5事業に1,804,371千円を計上
- ・令和4年度当初予算と一体的に予算を編成し、実施するもの

## 令和4年度当初予算のポイント・主要事業

### 1 予算編成にあたっての基本的な考え方

人口減少や経済・社会のグローバル化、急速な技術革新に伴う超スマート社会の進展など教育を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、子どもたちが人生100年時代を豊かに生きるため、将来予測が困難な時代にあっても、変化を前向きに受け止め、学び続ける意欲や態度を持ちながら、これからの時代を生き抜いていく力が求められています。

人格形成の基礎となる「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな身体」を育み、自己と社会のつながりを意識して、主体的に考え行動する力や、他者と協働して課題解決に取り組む力を育む教育を進めます。

すべての子どもたちが安心して学びに向かい、多様性を尊重し合いながら、一人ひとりが能力・個性を發揮できるよう、特別な支援を必要とする児童生徒への支援や、不登校やいじめへの対応、外国人児童生徒への教育など、一人ひとりに寄り添った教育を進めます。特別な支援が必要な児童生徒については、切れ目のない支援体制を充実するとともに、特別支援学校の整備を進めます。社会総がかりでいじめ防止に取り組むとともに、要因や背景が複雑化・多様化する不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を充実します。

さらに、教職員が限られた時間の中で、より効果的な教育活動を持続的に行うとともに、教職員の働き方改革を進めるため、専門人材や地域人材の配置を充実します。

これまでの新型コロナウイルス感染症への対応をふまえ、感染防止対策を講じながら、学びを継続する取組を着実に進めます。

教育委員会では、このような認識のもと、次の6項目について重点的に取り組みます。

#### (1) 子どもたちの基礎となる力の育成

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。「豊かな心」の育成については、「考え、議論する道徳」の授業づくりや読書習慣の定着のための取組を進めるとともに、「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして、社会総がかりでの取組や、増加しているSNSやインターネット上のいじめの防止に重点的に取り組みます。さらに、「健やかな身体」を育むため、スポーツの機会を拡充し、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組むとともに、生涯にわたり心身の健康を自ら管理できるよう、健康教育や食育に取り組めます。

## (2) 社会の担い手となる力の育成

変化が激しく予測困難な時代にあっても、三重の子どもたちが持続可能な社会を創る人材として活躍していけるよう、地域や地球規模の課題に取り組む探究的な学びなどを通して創造的・論理的な資質能力を育むとともに、子どもたちが自己の将来を見据えながら、実社会とつながった学びができるキャリア教育に取り組みます。また、ICTやデジタル技術を活用して、学校や地域を越えた新たな学びに取り組みます。

## (3) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支える教育を推進するため、「パーソナルファイル」を活用して支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。さらに、特別支援学校における施設の狭隘化や老朽化に対応するため、移転や改修に向けた取組を進め、子どもたちの学ぶ環境を整えます。

## (4) 安心して学べる教育の推進

不登校児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援を行うため、専門人材の配置や、高校段階で不登校等の状況にある子どもたちへの新たな支援に取り組むとともに、外国人児童生徒が社会的に自立できる力を身につけられるよう、日本語指導や将来を見通した進路選択のための支援を行うなど、一人ひとりに寄り添った教育を進めます。あわせて、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進めます。

## (5) 教育環境の整備

学校・家庭・地域が一体となった教育活動を図るため、コミュニティ・スクールの拡充に向けた取組を進めます。新たな高等学校活性化計画に基づき、各校の学科や課程の特性を生かして特色化・魅力化の取組を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、経験や職種に応じた研修を計画的に実施するとともに、効果的な教育活動と教職員の働き方改革を進めるため、専門人材や地域人材の配置を充実します。子どもたちが安全、快適に学べる環境づくりのため、県立学校施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策やトイレの洋式化を着実に進めます。さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝え、活用されるための取組を推進します。

## (6) 新型コロナウイルスの感染防止対策と学びの継続

学校における感染防止対策を徹底するため、衛生物品の配備や登下校時における「三つの密」を避けるためのスクールバスの増便、教員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフの配置などに取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、高校生一人ひとりの希望に応じた就職が実現できるよう支援を行うとともに、補充的な学習に係る支援、奨学給付金の支給などに取り組みます。

## 2 主な重点項目

### (1) 子どもたちの基礎となる力の育成

#### ① 学力向上推進事業

予算額 15,863 千円

[学力向上推進プロジェクトチーム (224-2931)]

学習内容の理解・定着を図るため、学力向上アドバイザーの指導・助言を得ながら、算数・数学の習熟度別指導において、学習端末を効果的に活用した指導方法をモデル校で実践します。また、全国学力・学習状況調査や、みえスタディ・チェック等を活用し、学力向上に向けて学校全体の計画的な取組を推進します。

#### ② (一部新) ICTを活用した子ども一人ひとりの学びのつまずき克服事業

予算額 10,964 千円

[学力向上推進プロジェクトチーム (224-2931)]

みえスタディ・チェックをCBT (Computer Based Testing) で実施するとともに、国語、算数・数学の単元別ワークシートや、経年課題である「割合」「図形」「読む力・伝える力」について学び直しができるワークシートを学習端末に提供し、つまずきの克服につなげます。みえスタディ・チェックの実施に合わせて、学習習慣や生活習慣等に係る質問紙調査を実施し、その内容を分析して、早い段階からの課題に対応した取組を進めます。

#### ③ 少人数教育推進事業

予算額 1,349,034 千円

[教職員課 (224-2958)]

小学校の少人数学級について、国の学級編制標準が令和3年度から計画的に引き下げられていくことをふまえ、国の加配定数を活用して、これまでの本県独自の小学校1・2年生30人学級(下限25人)、令和3年度から実施している3年生35人学級に加え、令和4年度は国を先取りして4年生を35人学級とし、きめ細かな指導を行うとともに、できる限り安心して学べる環境とします。中学校については、引き続き1年生での35人学級(下限25人)を実施します。

また、県単定数および非常勤の配置により、少人数指導に取り組む学校においては、「効果的な少人数指導推進ガイドブック」を活用して、引き続き、教員の役割分担によるティーム・ティーチングや、小学校算数と中学校数学の習熟度別指導に取り組めます。

#### ④ 道徳教育総合支援事業

予算額 3,323 千円

[小中学校教育課(224-2963)]

道徳教育の充実を図るため、学校へ道徳教育アドバイザーを派遣し、「考え、議論する道徳」の効果的な指導方法等に係る具体的な指導・助言を行うとともに、三重県道徳教育推進会議や公開授業を通して、その成果を普及します。また、中学生が学校や郷土の課題について解決策を考え、提案する課題解決型学習(PBL)の手法を取り入れた取組を支援するとともに、その成果を発表する実践発表会を実施します。

⑤ (一部新) いじめ対策推進事業 予算額 14,090千円  
[生徒指導課(224-2332)]

インターネットやSNSでのいじめが増加していることから、高校生による小学生を対象とした「SNS・ネットの上手な使い方講座」や、いじめ防止応援サポーター等の外部人材によるいじめ防止や情報モラルに係る出前授業を実施し、子どもたちのネットリテラシーの向上を図ります。著名人によるメッセージや、学校での効果的な取組、いじめ相談窓口など、いじめ防止に関するさまざまな情報を集約し、発信するポータルサイトを新たに構築します。また、ネットトラブルや新型コロナウイルス感染症によるいじめ・人権侵害から児童生徒を守るため、引き続き、不適切な書き込みを検索するネットパトロールを年間通して実施するとともに、不適切な書き込みを発見した場合に、その内容を投稿できるアプリ「ネットみえ〜る」を運用します。

⑥ スクールカウンセラー等活用事業 予算額 390,783千円  
[生徒指導課(224-2332)]

不登校やいじめの被害にあっている児童生徒、不安や悩みを抱える児童生徒からの相談や心のケアに対応するため、スクールカウンセラーの各学校への配置時間を拡充するとともに、特別支援学校や教育支援センターにも引き続き配置します。スクールソーシャルワーカーの配置時間も拡充し、各学校および教育支援センターからの要請に応じた派遣、福祉や医療機関等の関係機関と連携した支援を行います。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家とも連携して、児童生徒の日常的な相談に対応する教育相談員を中学校と高校に引き続き配置します。

⑦ 教育相談事業(一部) 予算額 11,439千円  
(SNSを活用した相談事業) [研修企画・支援課(226-3516)]

いじめ等の早期発見、早期対応を図るための相談窓口として、引き続き多言語でも相談できる「子どもSNS相談みえ」を実施します。

⑧ (一部新) ネット・SNSでのいじめに係る教職員研修 予算額 90千円  
(教職員研修事業の一部) [研修推進課(226-3571)]

インターネット・SNS上でのいじめやトラブルの未然防止、安全に利用するための指導方法に係る研修を実施します。

⑨ 子どもと本をつなぐ環境整備促進事業 予算額 493千円  
[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

読書習慣の形成に向けて、家庭、地域、学校等で読書活動が進められるよう、読書活動関係者の研修・交流会、家読(うちどく)やビブリオバトルの普及啓発、読書活動実践フォーラム等を行います。

⑩ 就学前教育の質向上事業

予算額 80,513千円

(130,513千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

[小中学校教育課(224-2963)]

幼児教育の質の向上と保幼小の円滑な接続を進めるため、幼児教育スーパーバイザーおよび幼児教育アドバイザーを市町や施設へ派遣し、研修支援等を行います。また、公立幼稚園における新型コロナウイルスの感染症防止のための保健衛生用品の購入や、ICT環境の整備について、国事業を活用して市町に補助を行います。

⑪ みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業

予算額 4,359千円

[保健体育課(224-2973)]

発達段階に応じた運動習慣や生活習慣等の改善を図るため、各学校の状況に応じた1学校1運動を進めるとともに、各校で作成した元気アップシートの取組を着実に実行できるよう、教員対象の研修会や指導主事の学校訪問を通じて指導・助言を行い、子どもたちの体力向上を図ります。

⑫ みえ子どもの元気アップ部活動充実事業

予算額 58,852千円

[保健体育課(224-2973)]

専門的な指導の充実と教員の負担軽減を図るため、中学校・高校において、顧問として単独で専門的な指導や引率を行える部活動指導員を増員します。高校の運動部で技術指導を行う外部指導者(サポーター)を派遣します。また、中学校のモデル校において、休日部活動の地域移行に係る実践研究に取り組み、持続可能な部活動に向けた検討を進めます。

⑬ (一部新) 運動部活動支援事業

予算額 191,984千円

[保健体育課(224-2973)]

中学校、高校の県体育大会や東海大会の開催経費を負担するとともに、生徒や教職員の全国・ブロック体育大会の参加に係る旅費に加え、安心して大会に参加するためのPCR検査費用を負担します。

**(2) 社会の担い手となる力の育成**

① (新) 未来を創造するリーダー育成事業

予算額 15,740千円

<事業実施期間：令和4年度～令和6年度>

[高校教育課(224-3002)]

新たなグローバル・リーダー育成プログラムに基づき、高校生が学校を越えて「M i e l a b」(ミエラボ)を結成し、SDGsに係る学習やデータサイエンティスト養成講座に取り組むとともに、フィールドワークや海外との交流、研究成果の発表等の探究的な学びを通して、これからの時代に求められる創造的な資質・能力を育みます。また、地域の魅力ある企業や仕事内容などの情報をデジタル化し、新たに構築するポータルサイトと生徒の学習用端末を活用し、企業と学校をつなぐキャリア学習支援員を新たに配置して、高校入学後の早い段階から地域の企業を題材としたキャリア教育に取り組みます。

② (新) オンラインとリアルによる学校の枠を越えた学び推進事業 予算額 3,700千円  
＜事業実施期間：令和4年度～令和6年度＞ [教育政策課(224-2951)]

生徒の多様なニーズに応じた学びを実現するため、通信制課程において、オンラインでの交流や地域での探究活動など学びの充実に取り組みます。全日制課程においては、遠隔授業のモデル構築を進めるとともに、専門分野の放課後講座や大学進学講座など、学校の枠や地域を越えて学べるよう取り組みます。また、これまでに小規模校で取り組んできた地域課題解決型学習を他校でも実施します。

③ (一部新) 高等学校学力向上推進事業 予算額 65,501千円  
[高校教育課(224-3002)]

普通科において、グローバルな視点から社会の課題をとらえ、その解決に向けて取り組む人材を育成するため、国事業を活用し、モデル校で分野を横断して学ぶ学際的な教育プログラムの実践研究に取り組みます。AIドリル教材を活用した、一人ひとりに応じた効果的な学びに係る授業改善のモデルを、全ての県立高校に展開します。また、県立高校でのICT環境の効果的な活用を進めるための支援員を派遣するとともに、ICTによる授業で必要となる著作権料を負担します。

④ 学びのSTEAM化推進事業 予算額 2,295千円  
[高校教育課(224-3002)]

Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Art(s) (リベラルアーツ・教養)、Mathematics (数学)を活用した文理融合・教科横断的な課題解決型の学びを通して、論理的思考力や探究力を育成するSTEAM教育の実践研究に取り組み、Society 5.0の時代を生き抜く人材を育成します。

⑤ 世界へはばたく高校生育成支援事業 予算額 4,560千円  
[高校教育課(224-3002)]

高校生の留学支援やオンライン海外交流を実施するとともに、高校生を対象にした「レベル別英語ディベートセミナー」を開催し、英語での発信力や論理的思考力の向上を図ります。また、科学に対する興味・関心を高めるため、三重県高等学校科学オリンピック大会を開催します。

⑥ 未来へつなぐキャリア教育推進事業 予算額 22,721千円  
[高校教育課(224-3002)]

高校生一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援を行う就職実現コーディネーターを引き続き配置します。外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの支援を行います。



- ⑦ (一部新) 地域とつなぐ職業教育充実支援事業 予算額 4,861千円  
(154,657千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)  
[高校教育課(224-3002)]

職業学科における実習環境を整備するとともに、生徒がより高度な専門的知識・技術を習得できるよう、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援します。GAPを生かした学習を通じ、農業に関する実践力を身につけ、経営者や地域のリーダーとなる人材を育成します。また、国の補正予算を活用して、老朽化した農業実習用温室の改修や、新たに自動車整備の基礎となる機械加工を行う実習室の整備を行います。

- ⑧ 実習船建造事業 予算額 845,662千円  
(※R3年度2月補正予算)  
[高校教育課(224-3002)]

水産高校の航海実習における生徒の安全確保や、最先端の航海技術を習得できる環境を整えるため、国の補正予算を活用して、令和5年度末の竣工に向けて実習船「しろちどり」に代わる、新しい実習船の建造工事に取り組みます。

- ⑨ (一部新) 入学者選抜事務費 予算額 18,058千円  
[高校教育課(224-3002)]

高等学校入学者選抜における学力検査問題が、中学校での学習に沿った適切な内容となるよう問題作成を行うとともに、入学者選抜が円滑に実施できるよう制度や手続きに係る情報提供を行います。受検者や学校の負担軽減と利便性向上のため、令和5年4月入学生を対象とした選抜から入学願書や調査書をデジタル化し、Web出願とするための取組を進めます。

### (3) 特別支援教育の推進

- ① 早期からの一貫した教育支援体制整備事業 予算額 19,910千円  
[特別支援教育課(224-2961)]

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズを的確にするため、パーソナルファイルの活用を促進します。高校において、発達障がいのある生徒への支援や保護者への相談、教員への指導・助言を行う支援員を増員するとともに、特別支援学校に在籍する外国人児童生徒および保護者を支援するため、通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置します。通級による指導を担当する教員等の発達障がいに係る専門性の向上を高める研修を行います。

② 特別支援学校メディカル・サポート事業 予算額 6,516千円  
[特別支援教育課(224-2961)]

医療的ケアの必要な子どもが身体的に安定した状態で教育活動に参加できるよう、看護師免許を有する職員を中心に校内で連携して医療的ケアを実施するとともに、研修会の実施による専門性の向上や、指導医等の指導・助言を得ながら校内のサポート体制の構築等に取り組みます。

③ 特別支援教育に係る教職員研修（教職員研修事業の一部） 予算額 298千円  
[研修推進課(226-3571)]

経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修を実施します。また、特別支援学級等を新たに担当する教員を対象に障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修を実施します。

④ 特別支援学校就労推進事業 予算額 4,690千円  
[特別支援教育課(224-2961)]

特別支援学校のキャリア教育プログラムに基づく計画的・組織的なキャリア教育を推進するとともに、外部人材を活用した職場開拓や、企業等と連携した職場実習等を実施することで、高等部生徒の進路希望の実現を図ります。

⑤ 特別支援学校施設建築費 予算額 904,443千円  
(1,519,963千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)  
[学校経理・施設課(224-2955)]

特別支援学校の施設について、計画的な老朽化対策および施設の狭隘化等に対応するための整備を進めます。盲学校および聾学校については、老朽化対策・安全対策として城山特別支援学校の隣地へ移転するため、令和4年度は新たな校舎の建築に係る設計を行うとともに、寄宿舎の建築工事を実施します。あわせて、国の補正予算を活用して、杉の子特別支援学校の知的障がいのある中学部生徒が令和5年4月から石薬師分校で学習できるよう校舎の一部改修工事、稲葉特別支援学校の寄宿舎棟を教室として活用する改修工事、西日野にじ学園で空調設備の更新を行います。また、松阪あゆみ特別支援学校の教室不足の解消を図るとともに、肢体不自由のある子どもたちの新たな就学先とするため、校舎増築に向けた土地取得を行います。

⑥ 特別支援学校学習環境等基盤整備事業 予算額 28,866千円  
[特別支援教育課(224-2961)]

稲葉特別支援学校や杉の子特別支援学校石薬師分校の改修に伴い、必要となる学習備品や消耗品など、学習環境の整備を進めます。特別支援学校小中学部に転入学する児童生徒の増加に伴い、学習用端末の整備を行います。

#### (4) 安心して学べる教育の推進

##### ① (一部新) 不登校対策事業

予算額 44,987 千円  
[生徒指導課 (224-2332)]

高校段階で不登校や休学、中途退学により学校との関わりが希薄となる子どもたちに学習支援や自立支援を行うため、県立の教育支援センターの設置に向けた実証研究に取り組みます。小中学校のモデル校を指定して、潜在的に支援が必要な児童生徒や家庭に、学校での早期かつ組織的な対応ができるよう、共通の基準で課題を把握するスクリーニングの取組を進めます。市町の教育支援センターにスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、専門的な支援を行うとともに、不登校支援アドバイザーの助言を得ながら訪問型支援に取り組みます。

##### ② (新) オンラインを活用した不登校児童生徒の居場所づくり事業 予算額 7,040 千円 〈事業実施期間：令和4年度〉 [生徒指導課 (224-2332)]

不登校児童生徒が社会につながるきっかけを得ることができるよう、ファシリテーターの適切な管理のもと、オンライン上で安全で安心して交流できる居場所として、不登校児童生徒が個別もしくはグループで対話や体験活動ができるコミュニティを創出します。

##### ③ (一部新) 不登校支援に係る教職員研修 予算額 829 千円 (教職員研修事業の一部) [研修推進課 (226-3571)]

不登校児童生徒への早期支援や学校での組織的支援を行うための研修を新たに実施します。

##### ④ (一部新) 教育支援センター指導員等に係る実践力向上研修 予算額 540 千円 (教育相談事業の一部) [研修企画・支援課 (226-3516)]

不登校児童生徒や保護者へ適切な支援や対応ができるよう、教育支援センター指導員等の実践力向上を図る研修を新たに実施します。

##### ⑤ (一部新) 多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業 予算額 34,082 千円 [小中学校教育課 (224-2963)]

市町における外国人児童生徒の受入れや日本語指導・適応指導に係る取組への財政的支援を行います。学習支援等を行う外国人児童生徒巡回相談員の派遣を行うとともに、散在地域の小中学校において日本語指導が受けられるよう、オンラインを活用した日本語指導に取り組みます。義務教育段階の学びを提供する夜間中学の体験教室を引き続き実施し、実証研究を通して丁寧にニーズを確認し、公立夜間中学の方向性を定めます。

⑥ 社会的自立をめざす外国人生徒支援事業

予算額 16,152 千円

[高校教育課(224-3002)]

外国人生徒が社会的自立を果たし、社会の一員として活躍できるよう、学習支援や進路相談を行う外国人生徒支援専門員（ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語等）および日本語指導アドバイザーを県立高校に配置します。

⑦ 未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部) (再掲)

予算額 7,428 千円

(高校生就職実現事業(外国人生徒等対応分))

[高校教育課(224-3002)]

外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの重点支援を行う就職実現コーディネーターを配置するとともに、進学・就職に関するセミナーを開催します。

※就職実現コーディネーター：14名のうち、5名分(外国人生徒等対応分)

⑧ 早期からの一貫した教育支援体制整備事業(一部) (再掲)

予算額 2,797千円

(特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業) [特別支援教育課(224-2961)]

特別支援学校に在籍する外国人児童生徒および保護者を支援するため、通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置します。

⑨ 学校防災推進事業

予算額 21,738 千円

[教育総務課(224-3301)]

防災ノートを新入生等に配付するとともに、体験型防災学習等の支援、学校防災リーダー等教職員を対象とした防災研修、中高生による東日本大震災の被災地でのボランティア活動や交流学習を実施します。また、災害時に孤立することが想定される地域に立地する県立学校の児童生徒用備蓄食料を更新します。

⑩ 災害時学校支援事業

予算額 561千円

[教育総務課(224-3301)]

避難所の開設・運営や学校の再開準備、児童生徒の心のケアなど、災害時の学校運営に関する専門的な知識や実践的な対応能力を備えた教職員による「三重県災害時学校支援チーム」において、大規模災害発生時には隊員を被災した学校に派遣して、学校教育の早期再開を支援します。また、民間団体・企業等との連携による災害時の子ども支援の仕組みづくりを進め、市町との連携につなげます。

**(5) 教育環境の整備**

① 地域と学校の連携・協働体制構築事業

予算額 5,102 千円

[小中学校教育課(224-2963)]

地域とともにある学校づくりを進めるため、地域学校協働本部の取組や、各市町のコミュニティ・スクールの拡充に向けた取組を支援します。また、地域未来塾など放課後等に補足的な学習支援に取り組む市町に対して補助を行います。

② (一部新) 教職員研修事業 (一部再掲)

予算額 38,058千円

[研修推進課(226-3571)]

子どもたちが学習指導要領で求められる資質・能力を身につけられるよう、「令和4年度三重県教員研修計画」に基づき、主体的・対話的で深い学びの授業改善につながる研修を行うとともに、市町教育委員会や学校での状況をふまえ、ICT活用指導力の向上に向けた実践的な研修を実施します。また、不登校児童生徒への早期支援や学校での組織的支援を行うための研修を実施するとともに、インターネット・SNS上でのいじめやトラブルの未然防止、安全に利用するための指導方法に係る研修を実施します。

③ 学校における働き方改革推進事業

予算額 317,373千円

[教職員課(224-2959)]

限られた時間の中で子どもたちと向き合う時間を確保し、より効果的な教育活動を持続的に行うため、感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、引き続きすべての公立学校に配置します。

④ 学校情報ネットワーク事業

予算額 424,604千円

[教育総務課(224-3008)]

学校情報ネットワークを安全に利用できるよう、機器更新やネットワーク保守など情報基盤の適切な維持管理を行うとともに、ネットワークを利用する教職員に対して、端末のトラブル等への対応に係る助言など運用面での支援を行います。

⑤ (一部新) 小中学校指導運営費 (一部)

予算額 5,151千円

[小中学校教育課(224-2963)]

学習端末を活用した授業が効果的に実施できるよう、セキュリティやコンテンツに関するアドバイザー等を小中学校や市町に派遣するとともに、小中学校におけるICT環境の状況把握や助言、学習ツールの利用に係るサポートなど、各市町に対して運用面での支援を行います。

⑥ 情報教育充実支援事業

予算額 253,351千円

(358,066千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

[高校教育課(224-3002)]

県立学校において、教科「情報」で学ぶプログラミング教育や情報デザインなど、専門的な実習に対応する学習用端末について、リースによる維持、更新を行います。国の補正予算を活用して、子どもたちの理解がより深まる授業や協働的な学びなどICTを用いた教育を充実させるため、指導者用の情報端末を整備します。

⑦ 校舎その他建築費 予算額 2,816,287千円  
[学校経理・施設課(224-2955)]

県立高校について、老朽化が進む施設の安全性を維持するため、県立学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的な老朽化対策に取り組むとともに、トイレの洋式化や校舎のLED化など設備面での機能の向上に取り組みます。

⑧ (一部新) 高等学校学力向上推進事業(一部)(再掲) 予算額 5,581千円  
[高校教育課(224-3002)]

普通科において、グローバルな視点から社会の課題をとらえ、その解決に向けて取り組む人材を育成するため、国事業を活用し、モデル校で分野を横断して学ぶ学際的な教育プログラムの実践研究に取り組みます。

⑨ (新) オンラインとリアルによる学校の枠を越えた学び推進事業(再掲) 予算額 3,700千円  
<事業実施期間:令和4年度~令和6年度> [教育政策課(224-2951)]

生徒の多様なニーズに応じた学びを実現するため、通信制課程において、オンラインでの交流や地域での探究活動など学びの充実に取り組みます。全日制課程においては、遠隔授業のモデル構築を進めるとともに、専門分野の放課後講座や大学進学講座など、学校の枠や地域を越えて学べるよう取り組みます。また、これまでに小規模校で取り組んできた地域課題解決型学習を他校でも実施します。

⑩ 教育改革推進事業 予算額 3,826千円  
[教育政策課(224-2951)]

本県教育の今後のあり方について、国の教育改革の動向をふまえ、幅広い視点から検討する教育改革推進会議を開催します。また、地域協議会を開催し、各地域における高校の活性化や今後のあり方について協議を行います。

⑪ 社会教育推進体制整備事業 予算額 1,334千円  
[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

社会教育の振興を図るため、市町における社会教育委員や社会教育担当職員等を対象に研修や情報交換を行います。公民館等の社会教育施設において地域課題の解決に資する学びの場が創出されるよう講習等を実施するとともに、地域と学校をつなぐコーディネーターの資質向上を図る講座を開催します。

⑫ (一部新) 鈴鹿青少年センター費 予算額 66,448千円  
[社会教育・文化財保護課(224-3322)]

心身ともに健全な青少年を育成するため、鈴鹿青少年センターを指定管理により運営し、施設利用者の増加や対象者の拡大および社会教育の普及・振興を図ります。また、民間活力の導入による魅力ある施設整備と運営管理を行うため、令和3年度に締結予定の基本協定に基づき、令和4年度は改修工事等に係る設計を行います。

⑬ 地域文化財総合活性化事業

予算額 90,000 千円

[社会教育・文化財保護課(224-2999)]

国・県指定等の文化財の所有者等が行う文化財修復等の事業について、技術的な助言および必要な経費に対する支援を行うとともに、所有者等による保存・活用・継承の取組を促進します。

⑭ 世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進費

予算額 538 千円

[社会教育・文化財保護課(224-3328)]

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保存と活用のため、文化庁や奈良県・和歌山県および関係市町と連携した取組を行うとともに、資産の保存・管理に多様な主体が参画できるよう講習会・講演会等を開催します。また、「鳥羽・志摩の海女漁の技術」のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、関係県との連携強化に努めます。

⑮ (新) 三重の文化・歴史を引き継ごう！新しい学びの機会創出事業 予算額 1,500 千円

<事業実施期間：令和4年度～令和6年度> [社会教育・文化財保護課(224-3328)]

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで以上に地域の文化や歴史に触れることが難しくなっていることから、地域の文化財への理解や関心を深めるきっかけとして、受講生を募集し、まつりや行事に係る映像視聴や講話、遺跡等の発掘等を行う体験講座を開催します。受講した参加者が、県や市町における文化財の保存や活用、継承の取組に協力したり、さまざまな形で身近な文化財に関わったりしていく契機とします。

**(6) 新型コロナウイルスの感染防止対策と学びの継続**

① 県立学校児童生徒等健康管理事業（一部）

予算額 38,678 千円

（県立学校消毒液等配備事業）

(※R3 年度 2 月補正予算)

[保健体育課(224-2969)]

新型コロナウイルス感染症対策のため、国の補正予算を活用して、県立学校において使用する消毒液等を購入します。

② 高校生安心安全通学支援事業

予算額 163,538 千円

[高校教育課(224-3002)]

県立高校の生徒の登下校時における「三つの密」を避け、安全で安心に通学できるよう、通学時における路線バス等の公共交通機関の乗車率が高く、さらに代替の交通手段がない学校において、登校時間の調整等では混雑を回避できない公共交通機関の路線に、スクールバスの増便等を行います。

- ③ 特別支援学校スクールバス等運行委託事業（一部） 予算額 176,606千円  
 （特別支援学校スクールバス増便事業） [特別支援教育課(224-2961)]  
 特別支援学校に在籍する子どもたちの登校時における「三つの密」を避け、安全で安心に通学できるよう、スクールバスを増便して運行します。
- ④ 少人数教育推進事業（一部）（再掲） 予算額 831,675千円  
 （少人数学級推進事業） [教職員課(224-2958)]  
 小学校の少人数学級について、国の学級編制標準が令和3年度から計画的に引き下げられていくことをふまえ、国の加配定数を活用して、これまでの本県独自の小学校1・2年生30人学級（下限25人）、令和3年度から実施している3年生35人学級に加え、令和4年度は国を先取りして4年生を35人学級とし、きめ細かな指導を行うとともに、できる限り安心して学べる環境とします。中学校については、引き続き1年生での35人学級（下限25人）を実施します。
- ⑤ 学校における働き方改革推進事業（一部）（再掲） 予算額 191,024千円  
 （スクール・サポート・スタッフ配置事業） [教職員課(224-2959)]  
 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い増大した業務に対応するため、感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、引き続きすべての公立学校に配置します。  
 ※スクール・サポート・スタッフ：全569名（県立学校・小中学校配置）のうち、コロナ対応分として362名分
- ⑥ （一部新）運動部活動支援事業（一部）（再掲） 予算額 59,150千円  
 [保健体育課(224-2973)]  
 生徒や教職員が安心して全国大会等に参加するためのPCR検査費用を負担します。
- ⑦ （一部新）高等学校学力向上推進事業（一部）（再掲） 予算額 45,452千円  
 （ICT・オンライン教育推進事業） [高校教育課(224-3002)]  
 県立高校でのICT環境の効果的な活用を進めるための支援員を派遣するとともに、ICTによる授業で必要となる著作権料を負担します。
- ⑧ （一部新）小中学校指導運営費（一部）（一部再掲） 予算額 79,029千円  
 （学習指導員配置事業）（ICTを活用した教育推進事業） [小中学校教育課(224-2963)]  
 子どもたちに応じたきめ細かな支援を行うため、補充的な学習の支援や、授業で教員の補助を行う学習指導員を引き続き配置します。学習端末を活用した授業が効果的に実施できるよう、セキュリティやコンテンツに関するアドバイザー等を小中学校や市町に派遣するとともに、小中学校におけるICT環境の状況把握や助言、学習ツールの利用に係るサポートなど、各市町に対して運用面での支援を行います。



⑨ (一部新) 多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業 (一部) (再掲)

予算額 3,855 千円

[小中学校教育課 (224-2963)]

外国人散在地域の小中学校においても外国人児童生徒が日本語指導を受けられるよう、オンラインを活用した日本語指導を実施するとともに、初期日本語教室と散在地域における小中学校の児童生徒をつなぐ仕組みを構築します。

⑩ 未来へつなぐキャリア教育推進事業 (一部) (再掲)

予算額 7,144 千円

(高校生就職実現事業 (コロナ対応分))

[高校教育課 (224-3002)]

一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援、地域の魅力ある企業や仕事内容等を生徒に情報提供する就職実現コーディネーターを引き続き配置します。また、外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの重点支援を行います。

※就職実現コーディネーター：全14名のうち、コロナ対応分として5名分

⑪ 特別活動支援事業

予算額 6,800 千円

[高校教育課 (224-3002)]

新型コロナウイルス感染症の影響により、県立学校が修学旅行を中止または延期した場合の企画料、学校の臨時休業によりやむを得ず中止した場合に発生するキャンセル料について、その経費を負担します。

⑫ 高校生等教育費負担軽減事業 (一部)

予算額 70,023 千円

(高校生等奨学給付金事業)

[教育財務課 (224-2940)]

高校生等の授業料以外の教育費負担を軽減する奨学給付金について、家庭でのオンライン学習に必要な通信費に一定の支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症等の影響による家計急変世帯への支援を行います。

# 子どもたちの基礎となる力の育成

【予算額 合計 2,181,787千円】※2月補正予算含みベース  
 学力向上推進PT(224-2931) 教職員課(224-2958) 小中学校教育課(224-2963)  
 生徒指導課(224-2332) 研修企画・支援課(226-3516) 社会教育・文化財保護課(224-3322)  
 保健体育課(224-2973)

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。「豊かな心」の育成については、「考え、議論する道徳」の授業づくりや読書習慣の定着のための取組を進めるとともに、「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして、社会総がかりでの取組や、増加しているSNSやインターネット上のいじめの防止に重点的に取り組みます。さらに、「健やかな身体」を育むため、スポーツの機会を拡充し、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組むとともに、生涯にわたり心身の健康を自ら管理できるよう、健康教育や食育に取り組みます。

## 「確かな学力」の育成

学力向上推進事業 【予算額:15,863千円】

学力向上アドバイザー(3名)の助言を得ながら、算数・数学の習熟度別指導で、学習端末を活用した効果的な指導方法をモデル校で実践

(一部新)ICTを活用した子ども一人ひとりの学びのつまずき克服事業  
 【予算額:10,964千円】

- ・みえスタディ・チェックをCBTで実施
- ・学習習慣や生活習慣等の質問紙調査を実施し、早期から課題へ対応

少人数教育推進事業 【予算額:1,349,034千円】

- ・小学校1年生の30人学級(下限25人)(定数20人)
- ・小学校2年生の30人学級(下限25人)(定数20人)
- ・小学校3年生の35人学級(定数50人)
- ・小学校4年生の35人学級(定数50人)・・・R4から実施
- ・中学校1年生の35人学級(下限25人)(定数55人、非常勤30人)
- ※実情に応じて2、3年生への振替可
- ・習熟度別指導やチーム・ティーチングなどの少人数指導のための教員配置(定数33人、非常勤139人)



## 「健やかな身体」の育成

みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業【予算額:4,359千円】

- ・各学校の状況に応じた1学校1運動の推進
- ・元気アップ研修会等による体育授業の充実

みえ子どもの元気アップ部活動充実事業  
 【予算額:58,852千円】

- ・運動部活動指導員の配置110名(中学校80名、高校30名)
- ※部活動指導員:中学校の文化部配置分(12名)を含め、計122名の配置
- 運動部活動サポーターの派遣50名(高校配置)
- ・中学校のモデル校で休日部活動の地域移行に関する実践研究

(一部新)運動部活動支援事業【予算額:191,984千円】

中学校の全国大会、高校の全国・ブロック体育大会への出場に要する旅費に加え、PCR検査費用の負担

部活動指導員  
22名増

## 「豊かな心」の育成

道徳教育総合支援事業 【予算額:3,323千円】

学校へ道徳教育アドバイザーを派遣するなど、「考え、議論する道徳」の指導方法等の指導、助言

(一部新)いじめ対策推進事業 【予算額:14,090千円】

- いじめ防止に関する多様な情報を集約し、発信するポータルサイトを開設
- 【掲載情報】著名人によるメッセージ、学校での効果的いじめ防止の取組、いじめ相談窓口等
- SNS、インターネットの適正利用
- ・高校生による小学生を対象とした「SNS・ネットの上手な使い方講座」を実施
- ・学校で外部人材によるいじめ防止や情報モラルの出前授業を実施
- ・ネット上の不適切な書き込みを早期に把握するため、ネットパトロールや「ネットみえ〜」を実施



スクールカウンセラー等活用事業 【予算額:390,783千円】

- スクールカウンセラー(臨床心理士等)の配置拡充
- ・中学校区、高校への配置を年間32週から35週へ拡充(中学校区:7時間/週、高校:6時間/週)
- ・特別支援学校の配置校数を8校から18校に拡充し、月あたり隔週もしくは1回(4時間程度)の配置
- ・教育支援センターは通級児童生徒数に応じて配置 ※「不登校対策事業」の配置分とあわせ、20センターに配置
- スクールソーシャルワーカー(社会福祉士等)の配置拡充
- ・市町ごとに1中学校区へ配置。学校数の多い市町には複数中学校区に配置(7時間/週)
- 教育相談員の配置

【スクールカウンセラー】

R4:309,272千円(+19,340千円/+6.7%)  
 ※R2:240,182千円,R3:289,932千円  
 ※R2から約1.3倍の予算額

【スクールソーシャルワーカー】

R4:76,698千円(+14,253千円/+22.8%)  
 ※R2:42,772千円、R3:62,445千円  
 ※R2から約1.8倍の予算額

【教育相談員】  
R4:28,276千円

教育相談事業(一部)(SNSを活用した相談事業)【予算額:11,439千円】

いじめ等の早期発見、早期対応を図るためのSNS相談 ※外国人生徒対応も含む



(一部新)ネット・SNSでのいじめに係る教職員研修(教職員研修事業の一部) 【予算額:90千円】

インターネット・SNS上でのいじめやトラブルの未然防止、安全に利用するための指導方法に係る教職員研修を実施

子どもと本をつなぐ環境整備促進事業 【予算額:493千円】

・読書活動推進計画に基づく読書活動の推進 ・家読(うちどく)、ビブリオバトルの普及啓発

就学前教育の質向上事業 【予算額:80,513千円】(130,513千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

- ・幼児教育センターにスーパーバイザー・アドバイザーを配置し、市町等へ派遣
- ・国事業を活用し、公立幼稚園における保健衛生用品やICT環境の整備に対し補助

# 社会の担い手となる力の育成

変化が激しく予測困難な時代にあっても、三重の子どもたちが持続可能な社会を創る人材として活躍していけるよう、地域や地球規模の課題に取り組む探究的な学びなどを通して創造的・論理的な資質能力を育むとともに、子どもたちが自己の将来を見据えながら、実社会とつながった学びができるキャリア教育に取り組みます。また、ICTやデジタル技術を活用して、学校や地域を越えた新たな学びに取り組みます。

【予算額 合計 1,132,894千円】※2月補正予算含みベース  
 高校教育課(224-3002)、教育政策課(224-2951)

## これからの時代に対応した 高等学校における学びの推進

### (新)未来を創造するリーダー育成事業

#### ①次代を担うグローバル・リーダー育成プログラム実践事業

・新たなグローバル・リーダー育成プログラムに基づき、これからの時代に求められる創造的な資質・能力を育成

#### <取組内容>

- ◇20名程度の生徒(2年生)を募集し、「Mie lab」(ミエラボ)を結成
- ◇プログラムを進めるため、SDGsに係る学習やデータサイエンティスト講座、英語プレゼン講座を受講し、基盤となる力を育成
- ◇グループごとに課題を設定し、外部アドバイザーの助言を受けながら、フィールドワークや海外学生とのオンラインディスカッションをとした探究活動を実施
- ◇活動成果は、企業等のコンテストでの発表や、海外の高校生との意見交換を行う



## キャリア教育の充実

【予算額 15,740千円】

### ②地域の企業とつなぐキャリア教育推進事業

・入学後の早い段階から職業について幅広く理解できるよう、「みえる・わかる・つながる!職業ポータルサイト」を新たに構築し、各校のキャリア教育に活用

#### <主な掲載内容>

- ◇業種・職種が理解が深まる解説動画
- ◇地域の事業所情報(仕事内容や魅力、やりがい、求める人物像、若手従業員からのメッセージ など)
- ・新たに「キャリア学習支援員」(4名)を配置し、生徒の学習活動へのサポートやキャリアカウンセリング、インターンシップ受入企業の開拓



### (新)オンラインとリアルによる学校の枠を越えた学び推進事業 【予算額 3,700千円】

- ・通信制課程で、オンラインでの交流や地域での探究活動を実施
- ・全日制課程で、遠隔授業のモデル構築や、複数の学校をつないだ放課後講座や大学進学講座を実施

### (一部新)高等学校学力向上推進事業 【予算額 65,501千円】

- ・国事業を活用して、普通科のモデル校で、分野を横断して学ぶ学際的な教育プログラムの実践研究を実施
- ・AIドリル教材を活用し、効果的な学びに係る授業改善のモデルを全県立学校に展開
- ・ICTの効果的な活用を進めるための支援員を派遣
- ・ICTを活用した授業において著作物を扱う場合に必要となる著作権料を負担

### 学びのSTEAM化推進事業 【予算額 2,295千円】

Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(リベラルアーツ・教養)、Mathematics(数学)を活用した文理融合・教科横断的な学びを通して、論理的思考力や探究力を育成

### 世界へはばたく高校生育成支援事業 【予算額 4,560千円】

- ・レベル別英語ディベートセミナーの実施
- ・高校生の留学支援
- ・オンライン海外交流の実施
- ・三重県高等学校科学オリンピック大会の開催

### 未来へつなぐキャリア教育推進事業 【予算額 22,721千円】

新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援を行う就職実現コーディネーター(14名)を配置

- ・拠点校配置 9名(うち、コロナ対応分3名)
- ・外国人・障がいのある生徒支援 5名(うち、コロナ対応分2名)

2事業あわせ就職支援を行う外部人材  
18名  
(対前年度1名増)

### (一部新)地域とつなぐ職業教育充実支援事業

【予算額 4,861千円】

- (154,657千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)
- ・国補正予算を活用して、農業実習用温室の改修や自動車整備の基礎となる機械加工を行う実習室を整備
  - ・すべての県立農業高校(5校)でGAP教育を推進
  - ・看護師、介護福祉士の育成のための実習を実施

### 実習船建造事業

【予算額 845,662千円】

※R3年度2月補正予算

国補正予算を活用して、水産高校における新しい実習船の建造工事を実施



## デジタル技術の活用

### (一部新)入学者選抜事務費 【予算額 18,058千円】

令和5年4月入学生を対象とした高等学校入学者選抜から、入学願書や調査書をデジタル化し、Web出願とする取組を実施



# 特別支援教育の推進

【予算額 合計 1,580,243千円】 ※2月補正予算含みベース  
 特別支援教育課(224-2961)、研修推進課(226-3571)、学校経理・施設課(224-2955)

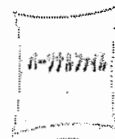
特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支える教育を推進するため、「パーソナルファイル」を活用して支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。さらに、特別支援学校における施設の狭隘化や老朽化に対応するため、移転や改修に向けた取組を進め、子どもたちの学ぶ環境を整えます。

## 特別支援教育の推進

### ◇早期からの一貫した教育支援体制整備事業【予算額 19,910千円】

#### ○早期からの一貫した教育支援体制を整備

- ・「パーソナルファイル」の活用促進と、支援情報の円滑な引き継ぎ 1名増
- ・発達障がい支援員4名による高等学校への巡回相談
- ・通級による指導担当教員等の専門性の向上
- ・特別支援学校のセンター的機能による支援
- ・市町教育委員会と連携した就学支援
- ・特別支援学校に在籍する外国人児童生徒等への支援(通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置)
- ・高等学校における通級による指導の充実と拡充
- ・交流及び共同学習の充実



### ◇特別支援学校メディカル・サポート事業【予算額 6,516千円】

#### ○医療的ケアを安全に実施するための体制を整備

- ・実施校：特別支援学校8校
- ・看護師免許を有する職員と教員が連携して医療的ケアの実施
- ・医療的ケアに係る知識・技能を習得するための基本研修および実地研修の実施
- ・指導医等による巡回指導および相談

#### ◇特別支援教育に係る教職員研修

(教職員研修事業の一部)【予算額 298千円】

#### ○特別支援教育に係る教職員の専門性の向上

- ・経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修の実施
- ・特別支援学級等の新担当教員が学級経営や障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修の実施

## 進路希望の実現

### ◇特別支援学校就労推進事業【予算額 4,690千円】

「未来を創造するリーダー育成事業」の1名分にあわせ、4名体制で支援

#### ○外部人材を活用した支援を実施

- ・生徒の適性に合った職種・業務と支援方法を企業に提案する形の職場開拓(キャリア教育サポーター3名を配置)

#### ○特別支援学校版キャリア教育プログラムに基づく取組の推進

- ・企業等と連携した技能講習、技能検定を実施(清掃、看護・介助業務補助)

## 施設の狭隘化・老朽化等への対応

### ◇特別支援学校施設建築費【予算額 904,443千円】

(1,519,963千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

#### ○盲学校・聾学校の移転

- ・城山特別支援学校の隣地へ移転するため、新たな校舎の設計および寄宿舎棟の建築工事

#### ○杉の子特別支援学校石薬師分校の改修 ※国の補正予算を活用

- ・知的障がいのある中学部生徒が学習できるよう校舎の一部改修工事

#### ○稲葉特別支援学校の教室改修 ※国の補正予算を活用

- ・寄宿舎棟を教室として活用するための改修工事

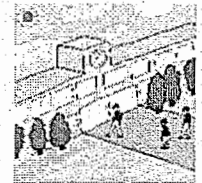
#### ○西日野にじ学園の空調設備の更新 ※国の補正予算を活用

#### ○松阪あゆみ特別支援学校の土地取得

- ・教室不足の解消と、肢体不自由のある子どもたちの新たな就学先とするため、校舎増築に向けた土地取得

### ◇特別支援学校学習環境等基盤整備事業【予算額 28,866千円】

- ・校舎改修に伴い、必要となる学習備品や消耗品など学習環境の整備





# 安心して学べる教育の推進

【予算額 合計 136,154千円】

生徒指導課(224-2332)、研修推進課(226-3571)、研修企画・支援課(226-3516)、小中学校教育課(224-2963)、  
 高校教育課(224-3002)、特別支援教育課(224-2961)、教育総務課(224-3301)

不登校児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援を行うため、専門人材の配置や、高校段階で不登校等の状況にある子どもたちへの新たな支援に取り組むとともに、外国人児童生徒が社会的に自立できる力を身につけられるよう、日本語指導や将来を見通した進路選択のための支援を行うなど、一人ひとりに寄り添った教育を進めます。あわせて、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進めます。

## 不登校児童生徒への支援

【一部新】不登校対策事業 【予算額 44,987千円】

- 高校段階で不登校等の状況にある子どもたちに、学習支援や自立支援を行う県立教育支援センターの設置に向けた実証研究を実施
- 早期の課題把握と支援を行うため、共通の基準によるスクリーニングを県内1中学校区でモデル的に実施
- 市町の教育支援センター(7カ所)にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し専門的な支援を実施
- アドバイザーの助言を得た訪問型支援を実施
- フリースクール等が行う不登校児童生徒の体験学習等の費用を支援

県立の教育支援センター  
設置に向けた取組を実施!



【新】オンラインを活用した不登校児童生徒の居場所づくり事業 【予算額 7,040千円】

不登校児童生徒が社会につながるきっかけを得ることができるよう、オンライン上で交流できる居場所として、対話や体験活動ができるコミュニティを創出

【一部新】不登校支援に係る教職員研修 【予算額 829千円】  
 (教職員研修事業の一部)

不登校児童生徒への早期支援や組織的支援を行うための教職員研修を新たに実施

【一部新】教育支援センター指導員等に係る実践力向上研修 【予算額 540千円】  
 (教育相談事業の一部)

教育支援センター指導員等の実践力向上研修を新たに実施

## 外国人児童生徒教育の推進

【一部新】多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業  
 【予算額 34,082千円】

- 外国人児童生徒の受入れや日本語指導・適応指導に係る市町の取組への財政的支援
- 学習支援等を行う外国人児童生徒巡回相談員の派遣、オンラインを活用した日本語指導を実施
- 夜間中学の体験教室を引き続き実施し、学び直しのニーズを把握しながら、公立夜間中学の方向性を定める



社会的自立をめざす外国人生徒支援事業 【予算額 16,152千円】

学習支援や進路相談を行う専門員6名、日本語指導アドバイザー1名を県立高校に配置

未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部)(再掲) 【予算額 7,428千円】  
 (高校生就職実現事業(外国人生徒等対応分))

外国人や障がいのある生徒に、きめ細かな相談や求人開拓等の重点支援を行う就職実現コーディネーター(5名)を配置

早期からの一貫した教育支援体制整備事業(一部)(再掲)  
 (特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業)

【予算額 2,797千円】

通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置

## 防災教育の推進

【一部新】学校防災推進事業 【予算額 21,738千円】

- 防災ノートを活用した学習
  - 体験型防災学習等の支援
  - 東日本大震災の被災地での中高生のボランティア活動や交流学习
  - 県立学校(※)の児童生徒用備蓄食料の更新
  - 学校防災リーダー等教職員研修の実施
- (※) 災害時に孤立が想定される地域に立地



【一部新】災害時学校支援事業 【予算額 561千円】

災害時の学校運営に係る専門的知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成し、「三重県災害時学校支援チーム」隊員を大規模災害発生時に被災した学校に派遣



# 教育環境の整備

【予算額 合計 4,137,568千円】※2月補正予算含みベース

小中学校教育課(224-2963) 研修推進課(226-3571) 教職員課(224-2959) 教育総務課(224-3008)

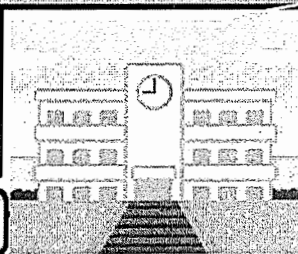
高校教育課(224-3002) 学校総務・施設課(224-2955) 教育政策課(224-2951) 社会教育・文化財保護課(224-3322, 2999, 3328)

学校・家庭・地域が一体となった教育活動を図るため、コミュニティ・スクールの拡充に向けた取組を進めます。新たな高等学校活性化計画に基づき、各校の学科や課程の特性を生かして特色化・魅力化の取組を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、経験や職種に応じた研修を計画的に実施するとともに、効果的な教育活動と教職員の働き方改革を進めるため、専門人材や地域人材の配置を充実します。子どもたちが安全、快適に学べる環境づくりのため、県立学校施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策やトイレの洋式化を着実に進めます。さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝え、活用されるための取組を推進します。

## ◇地域とともにある学校づくり

### 地域と学校の連携・協働体制構築事業【予算額 5,102千円】

・「地域未来塾」などの地域学校協働活動に係る経費の補助  
・サポーターを市町や学校に派遣し、コミュニティ・スクールの拡充や地域学校協働活動の充実を図るための指導・助言



### ◇教職員の資質向上と働き方改革の推進

#### (一部新)教職員研修事業(一部再掲)【予算額 38,058千円】

主体的・対話的で深い学びの授業改善につながる研修や、ICT活用指導力の向上に向けた研修等を計画的に実施



#### 学校における働き方改革推進事業【予算額 317,373千円】

スクール・サポート・スタッフを、引き続きすべての公立学校に配置

## 教育環境の整備

### 学校情報ネットワーク事業【予算額 424,604千円】

ネットワーク保守や、端末トラブル等への助言など運用面での支援

### (一部新)小中学校指導運営費(一部)【予算額 5,151千円】

セキュリティやコンテンツに関するアドバイザー派遣や、小中学校におけるICT環境の状況把握や助言、学習ツールの利用サポート

### 情報教育充実支援事業【予算額 253,351千円】 (358,066千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

ICTを用いた教育を充実させるため、指導者用の情報端末を整備

### 校舎その他建築費【予算額 2,816,287千円】

県立学校施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策を実施  
※トイレ洋式化:18校で設計、13校で改修工事を実施予定



## ◇社会教育の推進と地域の教育力の向上

### 社会教育推進体制整備事業【予算額 1,334千円】

市町や地域の社会教育関係者を対象とした研修会や、公民館と連携した地域課題解決型の講習等を実施

### (一部新)鈴鹿青少年センター費【予算額 66,448千円】

民間活力の導入により、魅力ある施設整備と運営管理ができるよう、改修工事等に係る設計を実施



## ◇文化財の保存・活用・継承

### 地域文化財総合活性化事業【予算額 90,000千円】

国・県指定等文化財の所有者等が行う文化財修復等の保存事業を支援



### 世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進費

【予算額 538千円】

- ・近隣県と連携した取組の実施
- ・新たな文化資産の情報収集を中心とする基礎的な調査
- ・講演会等の実施

### (新)三重の文化・歴史を引き継ごう！新しい学びの機会創出事業【予算額 1,500千円】

- ・まつりや行事に係る映像視聴や講話、遺跡等の発掘等の体験講座
- ・参加者がさまざまな形で身近な文化財に関わっていく契機とする



## ◇高校の特色化・魅力化

### (一部新)高等学校学力向上推進事業(一部)再掲【予算額 5,581千円】

普通科の新たな教育プログラムに係る実践研究

### (新)オンラインとリアルによる学校の枠を越えた学び推進事業(再掲)【予算額 3,700千円】

- ・通信制課程:オンラインでの交流や探究活動
- ・全日制課程:遠隔授業のモデル構築や、複数の学校をつないだ放課後講座や大学進学講座

### 教育改革推進事業【予算額 3,826千円】

- ・本県教育の今後のあり方について、幅広い視点から検討する教育改革推進会議を開催
- ・地域協議会を開催し、各地域における高校の活性化や今後のあり方について協議

# 新型コロナウイルスの感染防止対策と学びの継続

【予算額 合計 1,672,974千円】※2月補正予算含みベース  
 保健体育課(224-2969,2973) 高校教育課(224-3002)  
 特別支援教育課(224-2961) 教職員課(224-2958,2959)  
 小中学校教育課(224-2963) 教育財務課(224-2940)

学校における感染防止対策を徹底するため、衛生物品の配備や登下校時における「三つの密」を避けるためのスクールバスの増便、教員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフの配置などに取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、高校生一人ひとりの希望に応じた就職が実現できるよう支援を行うとともに、補充的な学習に係る支援、奨学給付金の支給などに取り組みます。

## 感染防止対策

### 衛生物品等の配備

県立学校児童生徒等健康管理事業（一部）  
 (県立学校消毒液等配備事業) [予算額 38,678千円]  
 ※令和3年度2月補正予算  
 県立学校(75校)において消毒液等を購入し、配備



### 通学時の安全確保

高校生安心安全通学支援事業  
 [予算額 163,538千円]  
 県立高校生徒の登下校時における「三つの密」を避けるため、公共交通機関の乗車率が高く、代替の交通手段がない学校11校において、スクールバスを増便

特別支援学校スクールバス等運行委託事業  
 (一部) [予算額 176,606千円]  
 (特別支援学校スクールバス増便事業)  
 特別支援学校に在籍する子どもたちの登校時における「三つの密」を避けるため、スクールバス13台を増便

### 安全・安心な学校活動

少人数教育推進事業(少人数学級推進事業) (一部) (再掲) [予算額 831,675千円]  
 ・国の学級編制標準が令和3年度から計画的に引き下げられていくことをふまえ、国の加配定数を活用して、これまでの本県独自の小学校1・2年生30人学級(下限25人)、令和3年度から実施している3年生35人学級に加え、令和4年度は4年生を35人学級とし、きめ細かな指導を行うとともに、できる限り安心して学べる環境とする  
 ・中学校は引き続き1年生での35人学級(下限25人)を実施

学校における働き方改革推進事業(一部) (再掲) [予算額 191,024千円]  
 (スクール・サポート・スタッフ配置事業)  
 感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、引き続きすべての公立学校に配置  
 ※全569名(県立学校・小中学校配置)のうち、コロナ対応分として362名分

(一部新) 運動部活動支援事業(一部) (再掲) [予算額 59,150千円]  
 生徒や教職員が安心して全国・ブロック体育大会に参加するためのPCR検査費用を負担

## 学習支援・学びの継続

(一部新) 高等学校学力向上推進事業(一部) (再掲)  
 (ICT・オンライン教育推進事業) [予算額 45,452千円]  
 ・ICT環境の効果的な活用を進めるための支援員を派遣  
 ・ICTによる授業で必要となる著作権料を負担

(一部新) 小中学校指導運営費(一部) (一部再掲)  
 (学習指導員配置事業) (ICTを活用した教育推進事業) [予算額 79,029千円]  
 ・子どもたち一人ひとりの状況に応じて、補充的な学習の支援や授業における教員の補助を行う学習指導員を配置  
 ・アドバイザー派遣を行うとともに、ICT環境の状況把握や助言、学習ツール利用に係るサポート等、各市町に対して運用面での支援

(一部新) 多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業  
 (一部) (再掲) [予算額 3,855千円]  
 オンラインを活用した日本語指導を実施するとともに、初期日本語教室と散在地域の小中学校の児童生徒をつなぐ仕組みを構築

## 就職・特別活動等への支援

未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部) (再掲)  
 (高校生就職実現事業(コロナ対応分)) [予算額 7,144千円]  
 就職実現コーディネーター14名のうち、コロナ対応分として5名を配置

特別活動支援事業 [予算額 6,800千円]  
 修学旅行を中止または延期した場合に発生する企画料や、臨時休業に伴うキャンセル料を負担

高校生等教育費負担軽減事業(一部) [予算額 70,023千円]  
 (高校生等奨学給付金事業)  
 ・家庭でのオンライン学習に必要な通信費への支援  
 ・新型コロナ等の影響による家計急変世帯への支援

その他の主要事業

事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈人権が尊重される社会づくり〉</p> <p>1 人権感覚あふれる学校づくり事業 605千円            (第10款 教育費 第1項 教育総務費 6人権教育費)            子ども一人ひとりの存在や思いが大切にされる「人権感覚あふれる学校づくり」が教育活動全体を通じて進められるよう、人権学習指導資料の効果的な活用や人権教育カリキュラムに関する実践研究等を行い、その成果を報告書や研修等で、全ての県立学校に広めていきます。</p> <p>2 子ども支援ネットワーク・アクション事業 2,477千円            (第10款 教育費 第1項 教育総務費 6人権教育費)            教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊感情を高め、「人権尊重の地域づくり」が促進されるよう、中学校区の「子ども支援ネットワーク」の活動を推進します。</p> <p>3 (一部新) 人権教育研究推進事業 2,251千円            (第10款 教育費 第1項 教育総務費 6人権教育費)            三重県人権教育基本方針に則した「人権感覚あふれる学校づくり」を実践するため、学校や中学校区を指定し、子どもが権利の主体者であるという意識や差別解消に向けた意欲を高め、実践行動ができる力を身につけるための学習活動等の研究を行い、その取組手法や指導内容等を普及し、活用します。</p> <p>4 人権教育研修事業 1,099千円            (第10款 教育費 第1項 教育総務費 6人権教育費)            学校における人権教育を推進するため、小・中・義務教育学校、県立学校の管理職等を対象とした研修を実施します。また、県立学校において、学校や地域で人権教育推進のリーダーとなって実践できる人材を養成します。</p>	<p>人権教育課 (224-2732)</p> <p>人権教育課 (224-2732)</p> <p>人権教育課 (224-2732)</p> <p>人権教育課 (224-2732)</p>



〈子どもたちの基礎となる力の育成〉		
1	<p>みえの学力向上県民運動推進事業  (第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費)</p> <p>学力向上の取組を推進するため、学校・家庭・地域がともに学び、議論する機会を提供するとともに、みえの学力向上県民運動推進委員による今後の方策についての協議を行います。また、生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立に向け、学習端末を活用した児童生徒の主体的な取組を促進します。</p>	<p>151千円</p> <p>学力向上推進プロジェクトチーム  (224-2931)</p>
2	<p>学校保健総合支援事業  (第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)</p> <p>子どもたちが健康に関する正しい知識を身につけ、理解を深めることができるよう、専門医等を学校に派遣するなど、学校における健康教育の充実を図ります。</p>	<p>645千円</p> <p>保健体育課  (224-2969)</p>
3	<p>がんの教育総合推進事業  (第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)</p> <p>教職員が、がんに関する教育の意義を理解し、指導内容・方法等に係る専門的な知識を習得できるよう、研修会等をとおして資質向上を図ります。</p>	<p>437千円</p> <p>保健体育課  (224-2969)</p>
4	<p>学校給食・食育推進事業  (第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)</p> <p>朝食メニューコンクールの実施等を通じて食育を推進するとともに、学校給食の衛生管理等の徹底を図ります。国事業を活用して、学校給食における食品ロスを削減し、食への理解を深める取組を進めます。</p>	<p>1,435千円</p> <p>保健体育課  (224-2969)</p>
5	<p>高校芸術文化祭費  (第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)</p> <p>音楽、美術、演劇など高校生の芸術文化の技術と創造力を磨き、芸術文化活動の活性化を図るとともに、生徒相互の交流を深め、豊かな人間性を育成するため、みえ高文祭や全国および近畿高等学校総合文化祭への生徒派遣の支援を行うとともに、令和5年度に本県で実施する近畿高等学校総合文化祭の開催準備を行います。</p>	<p>7,151千円</p> <p>高校教育課  (224-3002)</p>

<p>〈安心して学べる教育の推進〉</p>		
<p>1 学校安全推進事業</p> <p>(第10款 教育費 第7項 保健体育費 1保健体育総務費)</p> <p>学校における安全推進体制を構築するため、学校安全アドバイザーを委嘱し、モデル地域で通学路の安全点検や安全マップづくりを実施します。通学路における児童生徒の安全確保のため、見守り活動の中心となるスクールガード・リーダーを育成するとともに、地域のスクールガードを養成します。また、県内の公立学校の教員を対象に校種別の講習会を行い、交通安全および防犯対策の指導者を養成し、各学校での交通安全教育・防犯教育を進めます。</p>	<p>2,910千円</p>	<p>生徒指導課 (224-2332)</p>
<p>〈教育環境の整備〉</p>		
<p>1 (一部新) 教育相談事業 (一部再掲)</p> <p>(第10款 教育費 第1項 教育総務費 5総合教育センター費)</p> <p>臨床心理相談専門員を配置して、子どもたちの心の問題の解決に向けた専門的教育相談を行うとともに、学校での教育相談体制を支援するための派遣を行います。教職員の教育相談に係る力量の向上を図る研修や、校内の教育相談体制づくりを推進する中核的リーダーの育成をめざした教育相談研修を実施します。不登校児童生徒や保護者へ適切な支援や対応ができるよう、教育支援センターの指導員等の実践力向上を図る研修を新たに実施します。さらに、いじめ電話相談や多言語でも相談できる「子どもSNS相談みえ」を引き続き実施します。</p>	<p>61,273千円</p>	<p>研修企画・支援課 (226-3516)</p>
<p>2 県立学校教職員健康管理対策費</p> <p>(第10款 教育費 第1項 教育総務費 8教職員厚生費)</p> <p>県立学校教職員の生活習慣病等を早期発見・早期治療するため、定期健康診断を実施し検査結果を適正に管理するほか、生活習慣病予防として健康診断事後指導を実施します。</p> <p>また、時間外労働等のデータを管理する「過重労働対策報告システム」を活用し、産業医の指導・面接をとおして過重労働による健康障害の予防を図ります。</p>	<p>88,827千円</p>	<p>福利・給与課 (224-2939)</p>

3 教職員メンタルヘルス対策費	2,666千円	福利・給与課
(第10款 教育費 第1項 教育総務費 8 教職員厚生費)		
教職員の精神神経系疾患を予防するため、心の健康について正しく認識し、自らが早期に気づき、適切に対処できるよう研修や啓発を行うとともに、臨床心理士によるカウンセリングを実施します。また、教職員が早期に病気回復と職場復帰を果たせるよう、精神科医による管理職とのケースカンファレンスを実施します。		
〈文化財の保存・活用・継承〉		
1 文化財保存管理事業	6,060千円	社会教育・文化
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6 文化財保護費)		
「三重県文化財保存活用大綱」に基づき、文化財保護審議会の審議等を通じ、県内の貴重な文化財が適切に保存・活用・継承等の措置が図られるよう、市町や文化財所有者への支援を行います。また、国・県指定等文化財が持つ魅力の情報発信を行うとともに、適切に保存されるよう巡視を行います。		
2 埋蔵文化財センター管理運営費	7,528千円	社会教育・文化
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6 文化財保護費)		
埋蔵文化財に係る必要な発掘調査や適切な保存管理を行うとともに、県民への公開・普及を行います。また、子どもたちが郷土への愛着を持てるよう文化財を活用した出前授業等を行います。		
3 受託発掘調査事業	172,700千円	社会教育・文化
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6 文化財保護費)		
国等が実施する事業地内にある埋蔵文化財を適切に保護するための調整を行うとともに、必要となる発掘調査と記録作成を行います。		
4 熊野少年自然の家費	47,908千円	社会教育・文化
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 1 社会教育総務費)		
自然の中で心身ともに健全な少年を育成するため、熊野少年自然の家を指定管理により運営し、施設利用者の増加および社会教育の普及・振興を図るとともに、効率的な管理運営を行います。また、経年劣化に伴う施設の維持管理のため、給水管の改修工事に係る設計を行います。		

〈子どもが豊かに育つ環境づくり〉

- |  |             |                     |
|--|-------------|---------------------|
| 1 高等学校等進学支援事業<br>(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)<br>高等学校・高等専門学校生徒に対する修学奨学金の貸与等により、経済的な理由で修学が困難な生徒を支援します。   | 129,383千円   | 教育財務課<br>(224-2940) |
| 2 高校生等教育費負担軽減事業(一部再掲)<br>(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)<br>就学支援金や奨学給付金等を支給し、高等学校等における保護者等の教育費負担の軽減を図ります。また、奨学給付金においては、家庭でのオンライン学習に必要な通信費に一定の支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症等の影響による家計急変世帯への支援を行います。 | 3,538,111千円 | 教育財務課<br>(224-2940) |

## 債務負担行為

(単位:千円)

	事 項	期 間	限度額
1	高等学校等就学支援金に係る支給	令和5年度	507,382
2	学び直し支援金に係る支給	令和5年度	108
3	盲学校、聾学校及び城山特別支援学校統合寄宿舎建築工事に係る契約	令和5年度	612,000
4	県立高等学校入学者選抜におけるWeb出願システム構築及び運用保守業務委託に係る契約	令和5年度 ～令和8年度	4,800
5	県立学校における情報教育用パソコンのリースに係る契約	令和5年度 ～令和9年度	257,027
6	実習船建造に係る契約	令和5年度	1,959,908
7	実習船建造監督業務委託に係る契約	令和5年度	6,176
8	「STOP!いじめ」ポータルサイト構築及び運用保守業務委託に係る契約	令和5年度 ～令和10年度	3,960
9	三重県立熊野少年自然の家の指定管理に係る協定	令和4年度 ～令和9年度	213,355
10	コンピュータネットワーク総合研修システム再構築に係る契約	令和5年度 ～令和10年度	212,641

## 三重県立熊野少年自然の家 指定管理者制度活用の方針

### 1 指定管理者制度の活用にあたっての基本的事項

#### (1) 指定管理者制度活用の目的

青少年教育施設である三重県立熊野少年自然の家の管理について、民間が持つ知恵や豊富な知識などを効果的に活用することにより、施設の効用を最大限に発揮し、もって、県民サービスの向上および経費の削減を図り、県がめざす施策の実現に寄与するため、指定管理者制度を活用します。

#### (2) 施設の設置目的

優れた自然環境の中で集団生活指導を行うことにより、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として設置しています。

#### (3) 施設運営の基本的な方向性

学校、スポーツ少年団等の社会教育関係団体、地域の自治会等住民団体その他の多様な主体と連携し、子どもたちの体験学習の機会の拡充と利用者の拡大を図り、青少年の健全育成に寄与します。

また、施設の安全管理に努めるとともに利用者の視点に立って効果的な管理運営を図っていきます。

#### (4) 施設の概要

- ・ 三重県立熊野少年自然の家（昭和 52 年 1 月開所）

住 所 : 熊野市金山町 1577 番地

設 備 : 宿泊棟、天体観測室、野外炊事場等

構 造 : 鉄筋コンクリート造 2 階建

宿泊定員 : 200 名

現指定管理者 : 有限会社 熊野市観光公社

指定管理期間 : 平成 30 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

#### (5) 指定管理者が行う業務の範囲

指定管理者が行う業務の具体的な内容は次のとおりです。

なお、指定管理者が業務の遂行にあたり、県民に提供するサービスの水準を確保するため、個々の業務区分ごとに具体的な「要求水準」を募集要項の中で定めるとともに、業務の質の向上を図るため、次の「成果目標」を定めることを予定しています。

#### ア 業務の内容

(ア) 事業の実施に関する業務

(イ) 施設の利用の許可等に関する業務

(ウ) 施設利用に係る料金の收受等に関する業務

(エ) 施設等の維持管理および修繕に関する業務

(オ) その他管理上必要と認める業務

## イ 成果目標

施設延べ利用者数	27,500人以上（毎年度）
定員稼働率	17.0%以上（毎年度）
施設利用者満足度	90.0%以上（毎年度）

### (6) 利用料金制採用の考え方

施設の管理運営にあたっては、指定管理者の民間的発想に基づく柔軟かつ機動性のある経営手法を引き出し、多様な県民ニーズに対応できるサービス提供や効率的な施設運営をめざして、利用料金制（地方自治法第244条の2第8項の「利用料金」をいう。）を採用します。

### (7) 指定の予定期間

本県における指定管理者の指定の手続き等に関して必要な事項を定めた「指定管理者制度に関する取扱要綱」第4条に規定する指定期間の標準に基づき、令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間を予定しています。

### (8) 指定管理者に支払う施設管理経費の上限額

指定期間中における指定管理料の総額は、次に示す額を上限とします。

#### ・指定管理料の総額

213,355千円（5年間）（消費税および地方消費税を含む）

令和5年度	42,671千円
令和6年度	42,671千円
令和7年度	42,671千円
令和8年度	42,671千円
令和9年度	42,671千円

## 2 指定管理者の募集および選定等に関する事項

### (1) 募集の方法

指定管理者を公募により選定する予定です。

### (2) 選定委員会の構成と委員選定の視点

指定管理者の選定にあたり、その選定過程や手続きの透明性・公正性を高めていくため、県職員以外の有識者等で構成する「三重県教育委員会指定管理者選定委員会」を設置します。

選定委員会は、学識、経験、男女比等を考慮の上、公認会計士、学校教育関係者、社会教育関係者、社会教育に関する見識を有する者、施設利用代表者または地域住民の代表者（公募により選定）などによる計5名以上10名以内で構成する予定です。

### (3) 審査の方法および審査基準等の考え方

選定委員会は、応募者から提出された事業計画書等についてヒアリングを実施した上で、次の選定基準等に基づき総合的な審査を行います。

県教育委員会は選定委員会の審査結果をふまえ、最適と認められる事業者を指定管理者の候補者として選定します。

#### [選定基準]

- ①事業計画の内容が、県民の平等な利用を確保することができるものであること。
- ②事業計画の内容が、施設を適切に維持管理できるものであること。
- ③事業計画の内容が、施設の効用を最大限発揮できるものであり、県民へのサービスの向上を期待できるものであること。
- ④事業計画の内容が、施設の管理にかかる経費の縮減を図るものであること。
- ⑤指定を受けようとするものが、事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人員、財政的基礎を有していること。

なお、詳細な審査基準、配点については、選定委員会で決定します。

### 3 今後の日程に関する事項（予定）

- |          |   |
|----------|---|
| 令和4年 6月  | ・ 第1回選定委員会（審査基準・配点表審議）<br>・ 募集開始<br>・ 第2回選定委員会（選定委員による現地視察）                       |
| 令和4年 9月  | ・ 第3回選定委員会（1次審査・書面審査）   |
| 令和4年 10月 | ・ 教育警察常任委員会に指定管理候補者の選定状況を報告<br>・ 第4回選定委員会（2次審査・ヒアリング審査）<br>・ 第5回選定委員会（指定管理候補者の決定） |
| 令和4年 11月 | ・ 11月定例会に指定管理者指定議案を提出   |
| 令和5年 1月  | ・ 指定管理者の指定  |
| 令和5年 2月  | ・ 指定管理者と協定締結  |
| 令和5年 4月  | ・ 指定管理者による施設管理開始  |



議案第57号

令和3年度三重県一般会計補正予算(第20号)

【教育委員会関係】

歳出補正予算

(単位:千円)

款	項	補正前の額	補正額	補正後の額
教育費	教育総務費	23,716,885	▲ 349,682	23,367,203
	小学校費	53,408,415	▲ 244,378	53,164,037
	中学校費	29,552,874	▲ 142,438	29,410,436
	高等学校費	33,447,551	▲ 92,241	33,355,310
	特別支援学校費	13,167,463	▲ 144,578	13,022,885
	社会教育費	463,432	▲ 50,790	412,642
	保健体育費	515,384	2,913	518,297
合計		154,272,004	▲ 1,021,194	153,250,810

# 歳出補正予算の主な内訳

(単位:千円)

事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	内容
<b>教育総務費</b>				
教職員退職手当	14,036,725	▲ 248,361	13,788,364	退職手当の再算定による減額
高校生等教育費負担軽減事業費	3,658,785	▲ 88,841	3,569,944	高等学校等就学支援金及び高校生等奨学給付金の実績見込の精査による減額
<b>小学校費</b>				
小学校人件費	52,115,273	▲ 144,036	51,971,237	人件費の再算定による減額
<b>中学校費</b>				
中学校人件費	28,787,630	▲ 89,242	28,698,388	人件費の再算定による減額
<b>高等学校費</b>				
高等学校人件費	26,953,844	▲ 48,879	26,904,965	人件費の再算定による減額
校舎その他建築費	1,400,899	▲ 52,207	1,348,692	入札差金による工事請負費等の減額
<b>特別支援学校費</b>				
特別支援学校人件費	10,335,656	▲ 29,437	10,306,219	人件費の再算定による減額
特別支援学校施設建築費	944,820	▲ 39,393	905,427	入札差金による委託料等の減額
<b>社会教育費</b>				
受託発掘調査事業費	215,059	▲ 50,830	164,229	国等からの受託事業の減少に伴う委託料等の減額
<b>保健体育費</b>				
運動部活動支援事業費	93,215	4,816	98,031	PCR検査を義務付けられた全国大会等に生徒や教職員が参加する場合の検査費用の増額

# I 議案補充説明

## 議案第40号

### 「公立学校の会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案」

#### 1 改正理由

公立学校職員の期末手当の支給割合の改正等に鑑み、公立学校の会計年度任用職員の期末手当の支給割合の改正を行うものです。

#### 2 改正内容

会計年度任用職員の期末手当について、年間支給割合を100分の240（現行100分の255）に改めます。

#### 3 施行期日

令和4年4月1日から施行します。

#### 【参考】期末手当の支給割合

6月	12月	計
1.20月 (現行1.275月)	1.20月 (現行1.275月)	2.40月 (現行2.55月)

II 所管事項説明

1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく報告について

第1号様式(条例第5条関係)

予算に関する補助金等に係る資料(令和4年度三重県一般会計予算)

(部局名:教育委員会)

(単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
1	全国中学校体育大会派遣費補助金	三重県中学校体育連盟 鈴鹿市十宮町 1335	11,202 (R4.4)	中学校の全国大会へ生徒を派遣するために要する経費を補助する。	(目的・理由) 中学校の生徒を全国大会へ派遣することにより、スポーツ水準の向上を図る。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	中学校の生徒を全国大会へ派遣する経費を補助することにより、県内スポーツ水準の向上を図るものであり、公益性を有する。	保健体育課	教育費	保健体育費	体育振興費	運動部活動支援事業費
2	全国・ブロック高等学校等体育大会派遣費補助金	三重県高等学校体育連盟 鈴鹿市稲生町 8232-1	60,569 (R4.4)	高等学校等の全国及びブロック体育大会へ生徒を派遣するために要する経費を補助する。	(目的・理由) 高等学校等の生徒を県外の体育大会へ派遣することにより、スポーツ水準の向上を図る。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	高等学校等の生徒を県外の体育大会へ派遣する経費を補助することにより、県内スポーツ水準の向上を図るものであり、公益性を有する。	同上	同上	同上	同上	同上
3	全国・ブロック中学校・高等学校体育大会新型コロナウイルス検査費用補助金	三重県中学校体育連盟 鈴鹿市十宮町 1335	15,627 (R4.4)	中学校の全国及びブロック体育大会へ出場する生徒・教職員の新型コロナウイルス検査に要する経費を補助する。	(目的・理由) 中学校の全国及びブロック体育大会へ出場する生徒・教職員の新型コロナウイルス検査に要する費用を補助することにより、参加者の自己負担を軽減する。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	中学校の全国及びブロック体育大会へ出場する生徒・教職員の新型コロナウイルス検査に要する費用を補助することにより、大会参加への安心・安全の向上を図るものであり、公益性を有する。	同上	同上	同上	同上	同上

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
4	全国・ブロック中学校・高等学校体育大会新型コロナウイルス検査費用補助金	三重県高等学校体育連盟 鈴鹿市稲生町8232-1	43,523 (R4.4)	高等学校の全国及びブロック体育大会へ出場する生徒・教職員の新型コロナウイルス検査に要する経費を補助する。	(目的・理由) 高等学校の全国及びブロック体育大会へ出場する生徒・教職員の新型コロナウイルス検査に要する費用を補助することにより、参加者の自己負担を軽減する。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	高等学校の全国及びブロック体育大会へ出場する生徒・教職員の新型コロナウイルス検査に要する費用を補助することにより、大会参加への安心・安全の向上を図るものであり、公益性を有する。	保健体育課	教育費	保健体育費	体育振興費	運動部活動支援事業費
5	文化財保護事業補助金	公益財団法人諸戸財団 桑名市太一丸18	34,976 (R4.4)	文化財の所有者、管理団体、保護関係団体及び市町が実施する文化財の保存事業及び保存施設整備に要する経費の一部を負担する。	(目的) 指定文化財等の保存事業に対して財政的支援を行い、その適切な保存等を図る。 (理由) 事業者の負担を軽減することで、保存事業を行いやすくし、文化財等が適切に保存され、県民共有の財産として活用されることにつながる。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	文化財は、わが国の歴史、文化等を正しく理解し、将来の文化の向上発展に資する重要なものであり、その保存事業を支援することは公益性を有する。	社会教育・文化財保護課	同上	社会教育費	文化財保護費	文化財管理費
6	同上	明和町 多気郡明和町馬之上945	19,591 (R4.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
7	文化財保護事業補助金	宗教法人春日神社 伊賀市川東613	19,150 (R4.4)	文化財の所有者、管理団体、保護関係団体及び市町が実施する文化財の保存事業及び保存施設整備に要する経費の一部を負担する。	(目的) 指定文化財等の保存事業に対して財政的支援を行い、その適切な保存等を図る。 (理由) 事業者の負担を軽減することで、保存事業を行いやすくし、文化財等が適切に保存され、県民共有の財産として活用されることにつながる。 (根拠) 教育関係事業補助金等交付要綱	文化財は、わが国の歴史、文化等を正しく理解し、将来の文化の向上発展に資する重要なものであり、その保存事業を支援することは公益性を有する。	社会教育・文化財保護課	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財管理費